

平成24年度

カリキュラム委員会（第3回）議事要旨

日時：平成24年9月21日（金） 15:00～15:45

場所：全学教育管理・講義A棟 6階 大会議室

出席者：委員長 箕島（実施調整部長）

委員 江川（機構長）、舟場（文）、竹中（カレッジ）、青野（人）、高田（人）、田中（法）、佐々木（経）、蔵田（理）、廣野（理）、松尾（医）、藤堂（医）、吉田（歯）、南方（工）、狩野（基）、木村（言）、三藤（言）、松本（言）、松繁（国公）、大谷（国セ）、宮久保（博）、阿部（サ）、森（全教）、小松（全教）、坂東（全教）

オブザーバー 小磯（理）、三上（医保）

欠席者：竹村（企画開発部長）、岡島（文）、河野（言（外））、北村（法）、山本（経）、内田（理）、杉山（理）、井上（理）、金岡（理）、近藤（薬）、三宅（言）、小林（生命（基））、西田（保セ）、清川（サ）、窪田（全教）、

陪席者：田山学生交流推進課長補佐、都々木教務係長、小坂教務係員

議題：

議事に先立ち委員長から、経済学部教授から同学部准教授へ委員の交替があった旨紹介があった。また、委員長から、前回の本委員会議事要旨（資料1）の確認があった。

報告事項

1. 平成25年度以降医学部保健学科看護学専攻入学者の専門基礎教育科目（哲学概論）の取扱いについて（資料2）

委員長から、資料2に基づき、医学部保健学科より以下のとおり変更の依頼があった旨報告があった。

- ・専門基礎教育科目「哲学概論」（医学部保健学科看護学専攻・第Ⅲセメスター配当）について、平成25年度入学生から当該科目を削除し、専門基礎教育科目の必要単位を16単位から14単位に変更する。
- ・平成24年度入学生に対しては、「ライフサイエンス・医療の倫理」と名称変更して開講（平成25年度第1学期）し、科目の読替を行う。

協議事項

1. 平成25年度G30（人間科学コース）開講科目の一般学生への開放について（資料3）

委員長から、資料3に基づき、「G30科目の一般学生への開放検討WG」の結論として、インターナショナルカレッジからの依頼のとおり、平成24年度に基礎セミナーとして開講された2科目の基礎教養科目（基礎教養1）への科目区分変更、および専門基礎教育科目の新規1科目の追加を了承した旨説明があった。

なお、基礎教養科目に科目区分を変更する2科目について、一般学生が受講生の多数を占める場合でも、G30の英語水準に合わせたいとの発言があり、その旨をシラバスに記載することを確認した。

以上を踏まえての審議の結果了承され、委員長から、科目区分を変更する2科目、および新規開講1科目は、各学部長宛に卒業要件単位としての配当について照会を行い、11月の本委員会で結果を報告する旨説明があった。
2. 平成25年度開講授業科目等について（資料4）

委員長から、資料4に基づき説明があり、審議の結果了承された。

なお、専門基礎教育科目「統計学B-I」の配当学部の組替えがある旨発言があった。また、本資料を基に後日、各部局長宛に担当教員選出の依頼を行う旨説明があった。
3. 教養教育科目(国際2を除く)・専門基礎教育科目(文系)の開講枠について（資料5）

委員長から、資料5に基づき、科目区分ごとの開講可能時間帯について説明があり、審議の結果了承された。

なお、開講可能時間帯以外での開講および配当は認められない旨説明があった。
4. 平成24年度授業担当非常勤講師の資格審査について（資料6）【回収資料】

委員長から、資料6に基づき説明があり、審議の結果了承された。

なお、「世界の事情を英語で学ぶ」については、(i) サンフランシスコ教育研究センターから推薦された者で、機構長が特に認める者として予備審査を省略していること、(ii) アメリカ合衆国では、職業選択の自由に抵触するため雇用時の年齢確認は必要とされず、したがって、本資料でも一部の非常勤講師の生年月日は非公開となっている旨説明があった。
5. 平成24年度授業担当教員等の変更等について（資料7）

委員長から、資料7に基づき説明があり、審議の結果了承された。
6. 平成24年度ゲストスピーカー（特別講師）について（資料8）【回収資料】

委員長から、資料8に基づき説明があり、審議の結果了承された。

● その他配付資料

カリキュラム委員会（第2回）議事要旨（資料1）

次回開催：平成24年 11月16日（金） 15:00～（予定）